



**PORT  
FOLIO  
2024**

千葉デザイナー学院3年  
グラフィックデザインコース  
平山櫻子

## Motto

# 誰かに寄り添える デザイン

生きるのって苦しい。楽しいこともあるけれど、どうしても苦しい時もあります。

ちょっとしたことでイライラしたり、こうならいいのにと不満を感じたり…そんな毎日を生きる人たちのために、デザインの力で少しでも今日という日が華やかになるように、当たり前すぎて気づかなくても、少しでも毎日がスムーズに進むように、どこかの誰かに寄り添える仕事がしたい、そう考えています。



## 平山 櫻子

Hirayama Sakurako

2003年4月3日生まれ。千葉県出身

2022年4月

千葉デザイナー学院デザイン科に入学  
グラフィックデザインコースに在籍

2025年3月

千葉デザイナー学院卒業見込み

幼い頃から何かを作ることが好きです。  
聞き上手とよく言われます。  
髪留めは日替わり。

## Skill



+Word / PowerPoint / Excel

## 目次

### 01

積読ジェンガ 05-10

### 02

リブランディング 11-16

### 03

カレーの紹介小冊子 17-20

### 04

つつんで、ひらいて 21-24

### 05

フリカケルマッシュ 25-28

### 06

福島県の観光ポスター 29-30

### 07

『Oto1』 31-34

### 08

名前のタイポグラフィー 35-36

### 09

クリスマスギフトのLP 37-40

### 10

OTHERS 41-44

# 01 積読ジェンガ

新しいプロダクトデザインの提案



## Concept

積読本があれば  
あるほど楽しい!

未読の本が積まれていく状態を指す  
積読。

しかしどんどん増えていく積読本に場  
所を奪われ、読まないことに対する罪  
悪感を感じてしまう人もいます。

それならば、積読本があればあるほど  
楽しいゲームを作って、もっと積読本  
に触れる機会を増やそう!と本好きの  
本好きによる本好きのための企画を  
考え、制作しました。

## Production

- ・パッケージ
- ・カード(6種類)
- ・説明書
- ・ビジュアルイメージパネル
- ・コンセプトボード



制作時間  
90時間

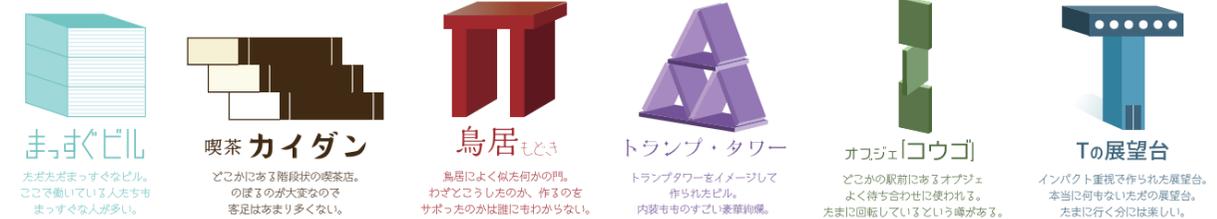


## 本好きの 本好きによる 本好きのための プロダクト

パッケージは文庫本のカバーを外したイメージ、各種カードはしおりをイメージして制作。

本棚に入れても馴染むようなデザインを考えました。

本が好きの人に興味を持ってもらい、さらに気に入っていただけるような、本好きの人へ向けたプロダクトです。



**まっすぐビル**  
ただただまっすぐなビル。ここで働いている人たちがまっすぐな人が多い。

**喫茶 カイダン**  
どこかにある階段状の喫茶店。のぼるのが大変なので客足はあまり多くない。

**鳥居**  
鳥居によく似た何かの門。わざとこうしたのか、作るのをサポートのかは謎に思われない。

**トランプ・タワー**  
トランプタワーをイメージして作られたビル。内装も市販のすごい豪華物。

**オコシエ[コウゴ]**  
どこかの駅前にあるオブジェ。よく待ち合わせに使われる。たまに回転しているという噂がある。

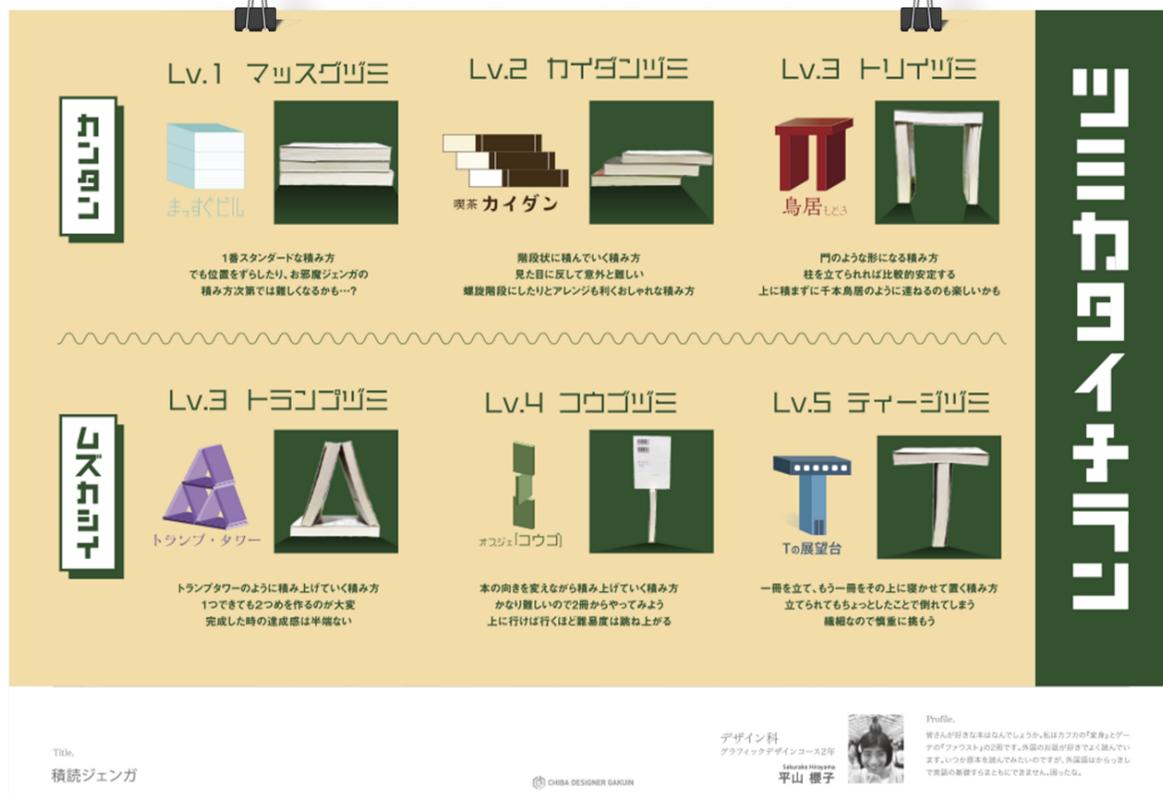
**Tの展望台**  
インパクト重視で作られた展望台。本場に何もないのだが展望台。本場に行く分には楽しい。



## コンセプトボード

ビジュアルパネルでは積んでいる様子を前面に出し、「ヘンテコ感」を演出していましたが、コンセプトボードでは「問い」と「実践」を下地に制作しました。

パッケージやビジュアルパネルだけでは説明しきれなかった「積み方」を写真付きで載せることで補っています。



# 02 リブランディング

学校のリブランディングをする



## Concept

### 既存イメージをどう活かすか？

既存のシンボルマークはカラフルで角ばっているのが特徴です。

そこで全体的に角ばっているところは変えず、真面目すぎず洗練された雰囲気を目指しました。ロゴタイプの一部の角を取り、少し印象を柔らかくしています。

シンボルマークはアイデアを留めるという意味でクリップをイメージして制作しました。

## Production

- ・シンボルマーク、ロゴタイプ
- ・CIマニュアル
- ・缶バッジ
- ・封筒(2種類)
- ・レターヘッド
- ・案内板
- ・校舎サインデザイン



制作時間  
30時間

シンボル基本形



ロゴタイプ基本形

千葉デザイナー学院



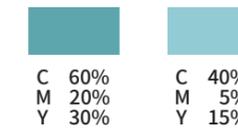
何色にだってなれる。

黒が基調ですが、それ以外にも「CMYK」のイメージで3色の色展開があります。

シンボルやロゴを使ったグッズの展開やシーンに合わせて、この場の雰囲気合った色で使用できたらと考えています。真面目な時はカチッと黒で。学園祭などのイベントの時はそれ以外の3色で。どんな雰囲気にもなれるシンボルマークとロゴタイプです。

色展開

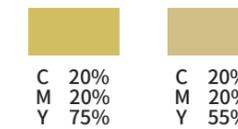
専門学校  
千葉デザイナー学院



専門学校  
千葉デザイナー学院



専門学校  
千葉デザイナー学院



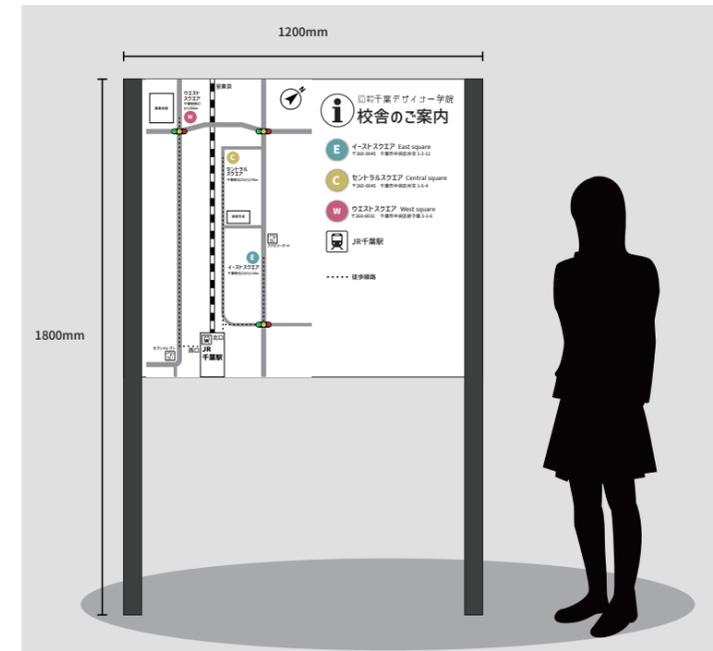
専門学校  
千葉デザイナー学院

白抜き



▼案内板

▲校舎サインデザイン



# 03 カレーの紹介小冊子

スパイスカレーの魅力伝える小冊子を作る



## Concept

### カレーの香りが するようなデザイン

美味しい料理はいい香りがします。  
カレーなんかは匂いにつられてお腹が  
空く定番の料理ではないでしょうか。  
カラーリングやフォントで雰囲気作り  
をして、香料がついているわけではな  
いののに、なんだか香りがイメージが  
出てしまう、それでいて読んでいると  
思わずお腹の虫が鳴いてしまうよう  
な、そんなデザインの冊子を制作しま  
した。

## Production

- ・カバー
- ・帯
- ・小冊子



制作時間  
42時間



# 04 つつんで、ひらいて

映画のパフレットを作る



## Concept

### 自然と読める、 雰囲気伝わる

パンフレットを買う人は映画を観たという人が大半だと思います。ある程度の内容はわかっている状態で読むため、映画の空気感、雰囲気を思い出せるような足がかりを作ろうと考えました。しかし読む人のストレスになってしまっては今回のデザインとしては成り立ちません。文字をしっかりとブロック分けし、視線誘導を意識して配置しました。

## Production

・パンフレット



制作時間  
30時間



# 05 フリカケルマッシュ

千葉の魅力を伝えるパッケージ



## Concept

### 若者向けに 振り切ってみる

地元、香取市に焦点を当てて商品を考えました。香取市は年々人口が減っており、おじさんとおばあさんが多い印象です。佐原が有名ですが、歴史的な町並みや先述した件も相まって土産物は彩度の低い、大人しめのパッケージデザインが多いように感じました。そこで、あえてビビッドカラーを使用し、差別化と観光に来た若者に目を引いてもらえるように制作しました。

## Production

- ・ピローケース(3種類)
- ・スリーブ箱
- ・内袋(3種類)
- ・ショップカード
- ・ショップパー



制作時間  
30時間



## ご飯に“ノっかる”！

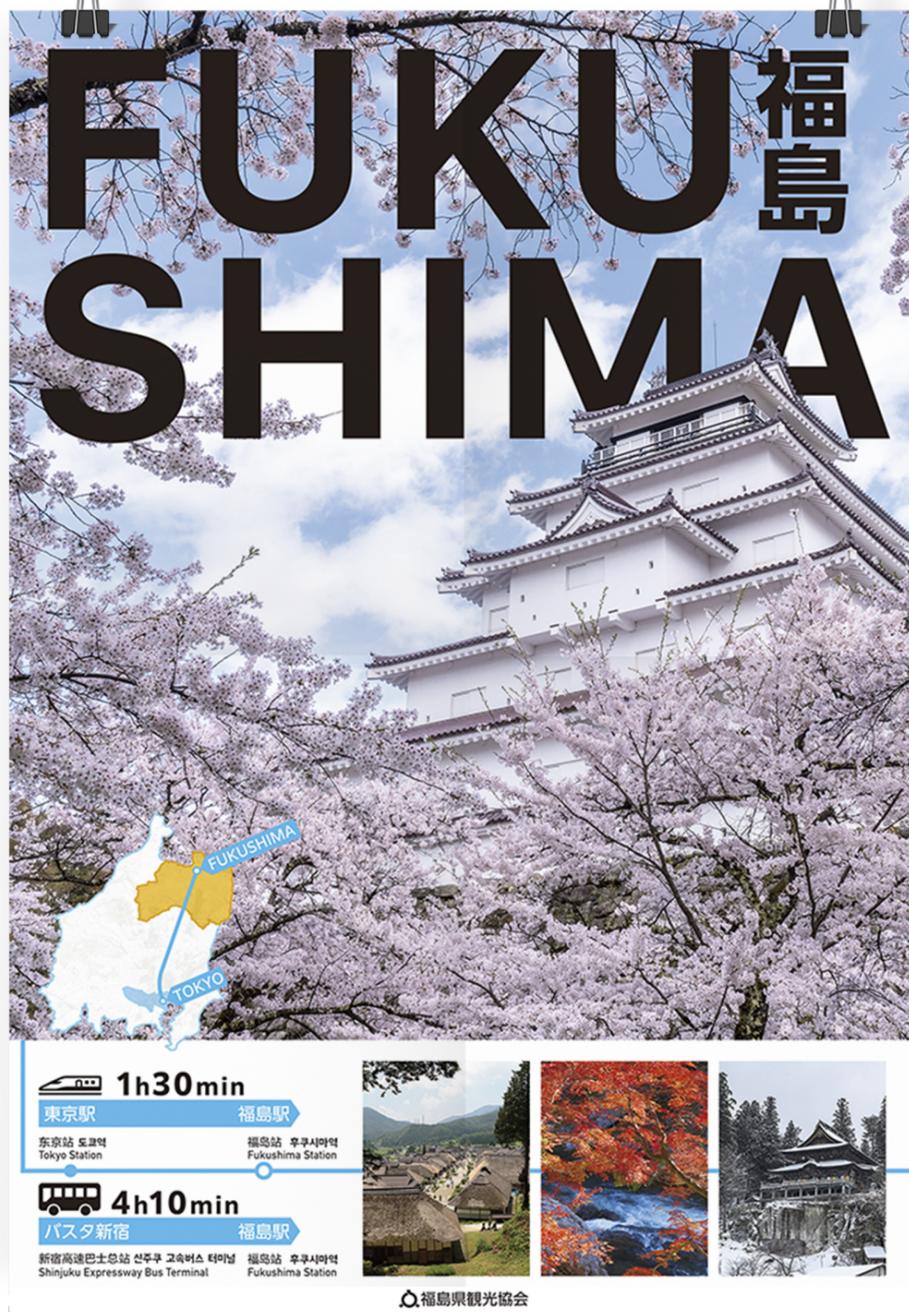
香取市のイマイチ知られていない特産品を選び、食卓の主役、ご飯に乗っかる！という意味でふりかけにしました。

ふりかけではあまり見かけないピローケースで手軽さを感じてもらい、メインターゲットである若者に目に留めてもらいやすいようなビビットなカラーでデザインを統一しました。



# 06 福島県の観光ポスター

千葉の魅力を伝えるパッケージ



## Concept

ダイナミックに  
魅力を伝える

四季と歴史をテーマに制作。

日本特有の建物や歴史などを目的に  
観光に来る方が多いそうなので、前後  
感を意識して建物や景色の迫力が伝  
わるように、文字も大きくしてダイナ  
ミックに配置しました。

制作にあたり、海外の映画ポスターな  
どを参考に構成しました。

ビジュアルのみでも楽しみに感じてく  
れるよう意識しました。

## Production

・ポスター(2種類)



制作時間  
15時間

# 07 『Oto1』

卒業・進級制作展のキービジュアルを作る



## Concept

0から1が生まれる。  
私の原点とは何か。

とても苦しみながら制作しました。

「Oto1」というテーマはいかようにも解釈できます。そのせいか全く制作が進まなかったのです。

そこで「0」という部分に着目しました。一度自分の「好き」に立ち返って、自由に作ってみよう、と原点に戻ってみることにしました。デザインは相手のために考えるものですが、この作品は私のために制作しました。

## Production

- ・キービジュアル(ポスター)
- ・ハガキ
- ・エントランスパネルデザイン
- ・ファザード
- ・特設サイトイメージ



制作時間  
30時間

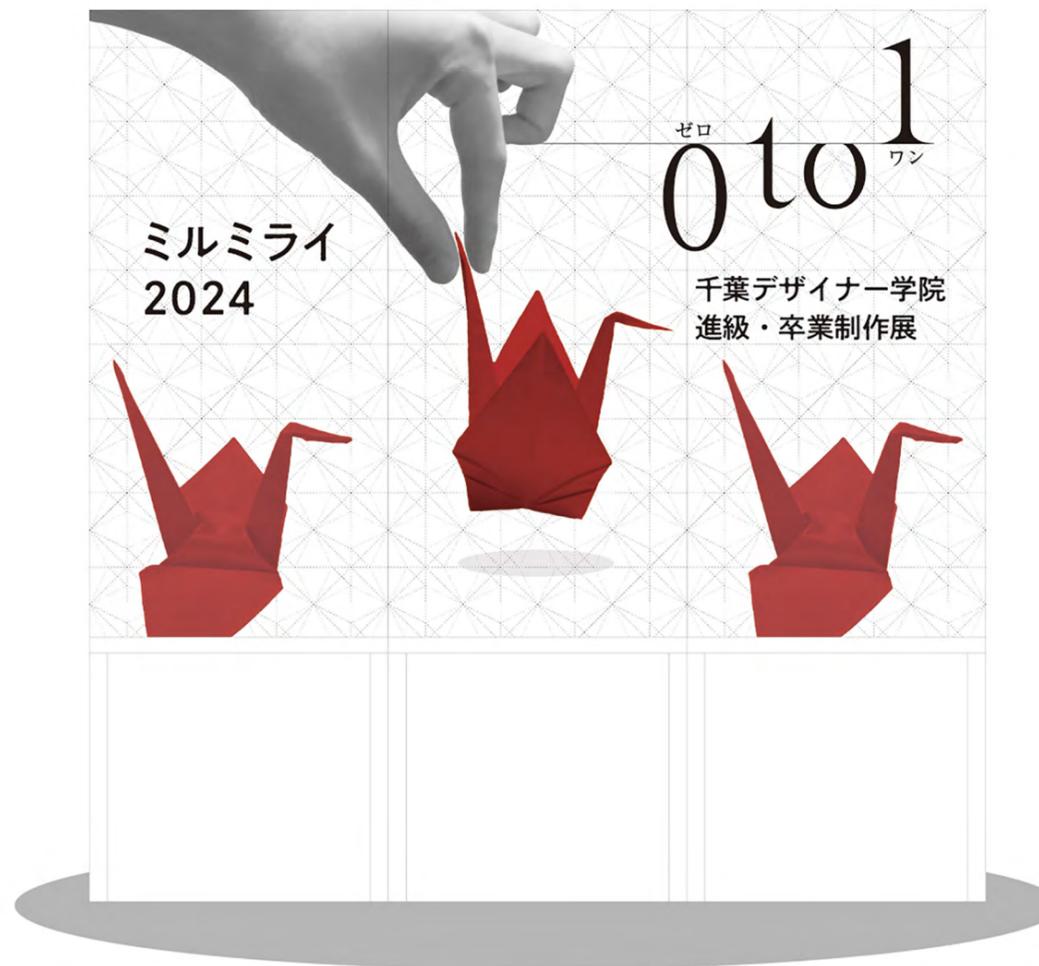


## 今までになかったような デザインを

進級・卒業制作展のキービジュアル案を作成しました。

今までになかったような、違うアプローチで作れないかと試行錯誤した作品です。

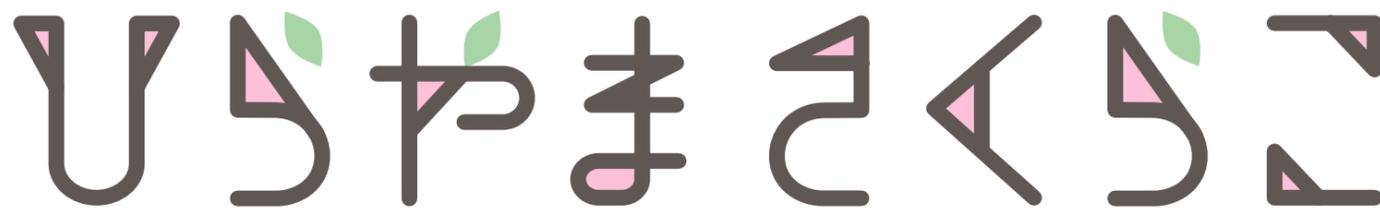
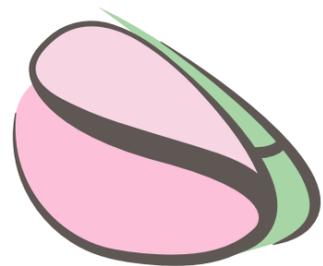
色数を絞り、赤色がより鮮明に映るようにしています。背景に鶴の折り目、3匹の鶴を並べ、日々生まれては消えていく数々のデザイン案、というテーマで制作しました。



▲エントランスパネル

# 08 名前のタイポグラフィ

自分の名前でシンボルマークとタイポグラフィを作る



Symbol

C:5% M:20%  
Y:5% DIC:3

C:5% M:35%  
DIC:2238

C:35% Y:50%  
DIC:2108

C:70% M:65%  
Y:65% K:15%  
DIC:526

Logotype

C:5% M:35%  
DIC:2238

C:35% Y:50%  
DIC:2108

C:70% M:65%  
Y:65% K:15%  
DIC:526

## Concept

### ザ・和風な 名前を活かす

シンボルは当時「さくらもち」というあだ名で呼ばれていたことから発想しました。イニシャルの「S・H」をさくらもちの形に落とし込み表現しました。

タイポグラフィはシンボルと合わせて和菓子屋さんのような雰囲気にしようと考え、特に古民家で見られる特徴的な剥き出しになっている「梁」をイメージして、離れている線同士を支えるような形を取り入れています。

## Production

- ・シンボルマーク
- ・タイポグラフィ



制作時間  
15時間

# 09 クリスマスギフトのLP

クリスマスギフトのLPを作る



## Concept

### 見て触って 楽しいLP

クリスマスギフトのLPということで、まず第一に短時間でいかに世界観、商品の魅力が伝えられるかを重きに制作しました。飽きが来ないようにスクロールすることに意味を持たせ、また、ターゲットである親御さんだけではなくそのお子さんとも見て楽しめるようなデザインに仕上げました。紙芝居や絵本のような世界観で商品の魅力を最大限に表現しました。

## Production

・LP

Ai

Ps

制作時間

20時間



## 世界にひとつだけの特別なプレゼント

LP制作にあたり、どんなギフトにするかを企画から考えました。

テディベアを選択したのは、欧米では「ファーストテディベア」という赤ちゃんに初めての友達としてテディベアを贈る風習があり、小さな子にとっては特別な存在となり得ます。企画コンセプトを上記のように設定し、それぞれの目的、需要に合うような3種類のテディベアのギフトを考えました。



# 10 OTHERS

その他のデザイン



## うさぎみくじ

チャリティー年賀全国学生デザインコンテスト2023にて入選した作品です。お正月といえば何か?と考えた時に意外とおみくじには注目されないなという印象がありました。

「わたしから、あなたへ」というテーマに沿って、笑顔になって欲しい人、これから受験に臨む受験生などに届いて欲しいという思いで作成しました。

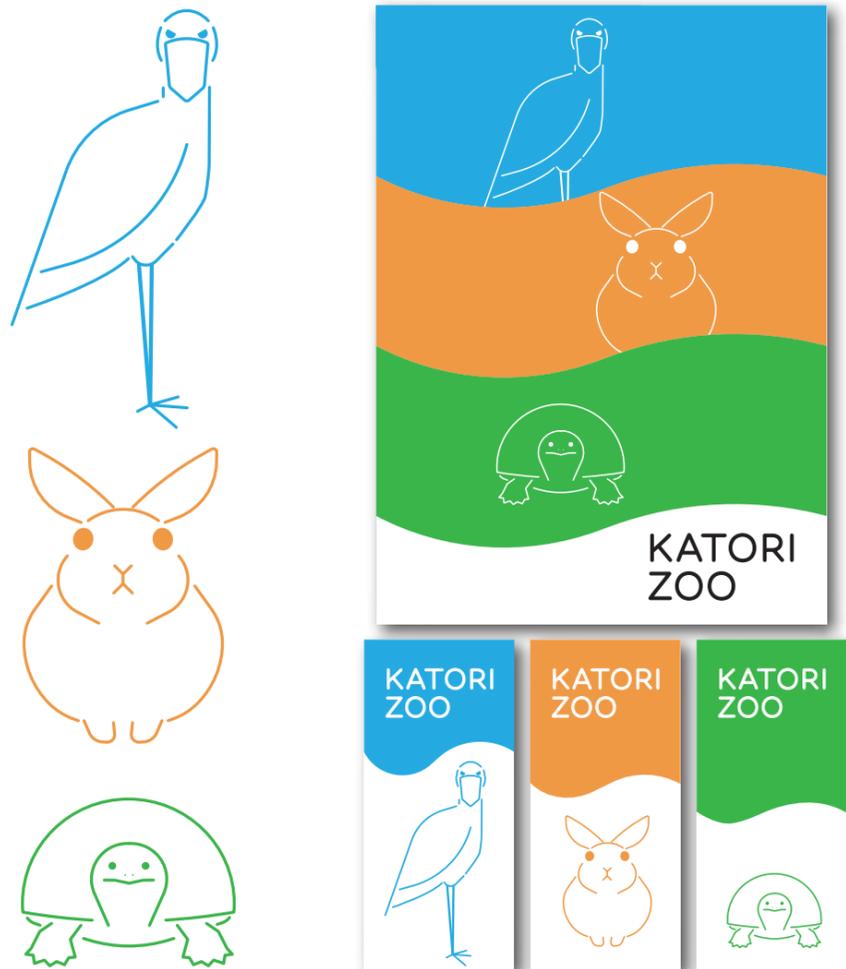


## 鮭の名刺

いかにしてインパクトを与えるか、を重きに考えた名刺です。半額シールやスーパーの商品に貼られているシールが好きだったので、これを利用してデザインに落とし込めないかと考え、名刺自体を鮭の入ったパックに見立てました。鮭も手描きです。名刺交換した人に覚えていてもらえて嬉しかった作品です。

# 10 OTHERS

その他のデザイン



## 動物園のポスターとバナー

この作品は面ではなくあえて線でシンボルを作ってみようという挑戦した作品です。複雑すぎてもシンボルとしては成り立ちません。できるだけシンプルな形に収まるよう制作しました。顔を正面に向けて統一感を持たせています。ポスターとバナーは「水郷」と呼ばれる香取市の特色を表すため、うねる水面のようなイメージで色を置きました。



## OBON

「和」をテーマにしたポスターカードを制作するというので、よくイメージされる和とは違う方向で作れないか、と考え「お盆」をモチーフに制作しました。お盆といえば精霊馬です。精霊馬といえばナスとキュウリ。キュウリといえばネコ。ということでネコの幽霊を配置しました。ネコはなぜかキュウリのビジュアルに大層驚くそうです。その様子を表現しました。

**THANK  
YOU!**